

■八千代市国際交流協会ニュース

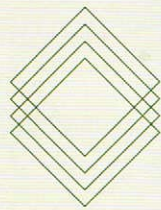
# くりっぴー

《cliP》

第16号

■発行日/2020年12月15日 ■発行・編集/八千代市国際交流協会(事務局/〒276-0027八千代市村上団地2-9-103 八千代市多文化交流センター内 TEL・FAX 047-752-0593 メール:yia2006@world.zaq.jp) 勤務日/火曜日・木曜日午前9時~午後3時 印刷/金子印刷企画





## 姉妹都市交流写真展を2カ所で開催

### 夏休み子ども日本語教室など6事業は中止に

今年度は新型コロナウイルス禍により、八千代市からの情報を総合的に検討した結果、「第14回夏休み子ども日本語教室in八千代2020」「第15回八千代市日本語スピーチ大会」「第15回八千代インターナショナルデイ」「第13回英語で聴く講演会」「第8回国際ハロウィンパーティー」「市民活動団体フェスティバル2020」の6事業は、令和2年7月16日に行われた第2回理事会において中止せざるを得ないという結論に達しました。実施した写真展と日本語教室の2事業についてご報告いたします。

#### ■ タイラー市姉妹都市委員会からの写真を活用

「タイラー市・八千代市姉妹都市交流写真展2020」は、フルガーデン八千代・噴水広場で9月7日（土）午前10時から午後5時まで、イオンモール八千代緑が丘・ローズ広場で10月2日（金）から4日（日）午前10時から午後6時まで開催いたしました。

今回は、交流写真44点（A4）、資料6点（A3）、タイラー市の概要12点（A3／6点・A4／6点）を展示しました。特徴は、これまでの写真展では見られなかったタイラー市の位置とタイラー市の概要を掲示したことです。特にタイラー市姉妹都市委員会からメールで送られてきた写真は、大変素晴らしいものでした。

入場者数は噴水広場461名、ローズ広場509名でした。希望する方には、「バラでつなぐ25年」と「くりっピー

第15号」を差し上げました。

また、テレビ（J:COMYY八千代）のインタビューで小林公孝会長は「タイラー市と八千代市の姉妹都市交流が末永く続けていけるよう、また関係者にも是非応援してもらいたい」と答えていました。

バラの街、アメリカ合衆国テキサス州タイラー市と八千代市は1992年（平成4年）5月に姉妹都市提携を結び、2017年（平成29年）10月には、提携25周年記念行事と八千代市市制施行50周年記念を合わせて八千代市で実施しました。

今回の写真展は、昨年10月にタイラー市を訪問した親善訪問団の第11回目の記録です。訪問期間は5泊6日の滞在。タイラー市長をはじめ多くのタイラー市民の皆様と交流し、そして大変温かい「おもてなし」を受け、国際交流の目的を十分に達成できたのではないかと考えております。八千代市からは服部友則市長、林隆文市議会議長（当時）、花島美記市議会議員、茂呂剛県議会議員、八千代市教育委員会職員3名、八千代市民、協会会員の22名が参加しました。

なお、この写真展を「ローズカーニバル」の一環として位置付けていただき、「八千代市×イオンモール八千代緑が丘コラボ企画」として実施していただいたイオンモール八千代緑が丘の富樫富美子さんには、大変お世話になり改めて厚くお礼を申し上げます。（国際姉妹都市部会／廣田敬治）

▼フルガーデン八千代・噴水広場で開催された姉妹都市交流写真展



▼ローズ広場で京成バラ園芸株式会社の北村恵喜社長に説明する小林会長



#### ■ 2020年度（令和2年）収支予算は次のとおり。中止となった事業に係る補助金は八千代市へ返還されます

《収入》1. 会費-463,000円 2. 補助金-1,087,200円 3. 繰越金-80,036円 4. 雑収入-93,764円 合計1,724,000円

《支出》1. インターナショナルデイ事業-285,000円 2. 国際ハロウィンパーティー事業-68,000円 3. 広報事業-223,000円 4. 部会事業費-①国際姉妹都市部会-46,000円 ②語学ボランティア部会-60,000円 ③日本語ボランティア部会-220,000円 ④国際交流促進部会-10,000円 ⑤各部推進業務-344,000円 5. 事務費-①賃金-160,000円 ②需用費-55,000円 ③役員費-145,000円 ④使用料及び賃借料-8,000円 ⑤備品購入費-90,000円 ⑥負担金-10,000円（事務局）

## 日本語教室、新型コロナウイルス禍では入室定員が制限、自作の「仕切り板」が活躍

2020年（令和2年）3月末で教室を閉鎖するようにと市役所から連絡があり、八千代台東南公共センターが閉鎖されました。その後、折々に八千代台東南公民館の玄関ドアを見に行きましたが、「当分の間閉鎖します」との表示は変わりませんでした。

しかし、突然、5月26日に政府の緊急事態宣言が解除されるのに伴い、6月第2週から日本語教室を再開する方向で検討してほしいと市役所から連絡がありました。ただし、講師と受講生の間は1m～2mの間隔を空けて、机や椅子は動かさないでくださいとのことでした。

この連絡を受け、そんな制約があっては教室を開けないと考えました。そこでひらめいたのは、世の中で人同士が1m～2mよりも近い距離になる場面です。スーパーのレジ前のビニールカーテンです。メンバーにビニールカーテンをメールで提案したところ、ご賛同をいただけたので、試作品を作る決心をいたしました。

八千代台東南公共センターの会議室用テーブルの上に固定させ、簡単に取り外せるビニールカーテンです。色々考えた結果、厚さ3cm、横2cm、長さ2.4mのアルミの板があれば、それを「コ」の字型に折り曲げて、ただし、椅子に座りながら横向きに話す場合も考え、上辺は1m、高さは1m、下辺はテーブルに合わせて45cmという設計になりますが、机にはC型クランプで2か所挟んで固定

▼補助金で購入した新しい「仕切り板」で学習する受講生



します。ビニールカーテンは簡単にダブルクリップで止めます。ただし、そのままでは不安定なので下辺の端から上に向けて柱が必要です。値段と手間を考え、木材の柱を立てて上と下の木ネジで止めることにいたしました。

かねてより妻の苦言を念仏のように聞き流し、買いそろえた日曜大工用品のディスクグラインダーや万力、金づち、電気ドリルを駆使して試作品を完成させました。出来上がった試作品を写真に撮り、メンバーの了解を得た上で計3つ作成いたしました。その後、他の曜日の教室からも好評だったので3つ追加いたしました。

6月13日は受講生は誰も来ませんでしたが、その後、受講生への電話を増やした結果、次第に満員御礼となりました。（日本語ボランティア部会／石田均）

## 2020年度(令和2年)八千代市国際交流協会役員・会員数は次のとおりです

◇名誉会長／八千代市長・服部友則、前八千代市国際交流協会会長・周郷紀男 ◇相談役／八千代市議会議員・山口勇 ◇会長／小林公孝 ◇副会長／江川典一・喜田茂・鈴木康彦 ◇会計／藤江潔・嶋野勝美 ◇理事／小川剛毅・長尾みち子・廣田敬治・鎌田久美子・入江幸世・柴田ひさ・花島美記 ◇監事／川島慎一・中嶋功（敬称略） ◇個人会員／130人 ◇家族会員／13家族 ◇団体会員15団体（明るい社会づくり八千代市推進委員会・八千代市医師会・八千代市管工事共同組合・八千代市芸術文化協会・八千代市商工会議所・八千代青年会議所・八千代市農業協同組合・八千代東ライオンズクラブ・ボーイスカウト八千代地区協議会・八千代市薬剤師会・八千代交通安全協会・八千代ライオンズクラブ・八千代ロータリークラブ・八千代バンコク交流の会・八千代少年少女合唱団） ◇賛助会員／習志野外語学院（順不同・敬称略／事務局） ※令和2年11月1日現在

## ちょっと一言

早いもので、この「くりっピー（cliP）」を発行してから15年が経ちました。2006年（平成18年）3月25日に第1号を発行し、当時の編集委員を務められた八千代市議会議員の山口勇氏によれば、この「くりっピー」の意味は、紙を止める事務用品「クリップ」、その特性から八千代市国際交流協会では、拡大解釈し「人々をつなぐ、心をとめるもの」という意味を込めたとのことでした。また最後の「P」を大文字にしたのは、人々を表す「People」を意味し、産声を上げたばかりの当協会がこれから何年経っても八千代市と世界、八千代市民と世界の人々、そして国際交流に関心を持つ多くの八千代市民同士をつなぐ団体でありたいと願ったことだそうです。

今年は、新型コロナウイルス騒ぎでほとんどの事業が中止となりました。来年度は今年度中止となった事業が実施できるよう祈るしかありません。その際は是非、皆様にお力をお貸しいただきたいと思っております。

（事務局・三橋伸一郎）

## 姉妹都市タイラー市の横顔2020を発行

2020年（令和2年）9月1日に『姉妹都市タイラー市の横顔2020』が発行されました。内容は「タイラー市の概要」「市の歴史」「レクリエーション」「医療及び教育」「テキサスローズフェスティバルとタイラーバラ博物館」「タイラー市政」「姉妹都市交流のあゆみ」「写真で見る姉妹都市交流inタイラー市2019」など。図書館でご覧になれます。（国際姉妹都市部会）



## 令和2年度八千代市篤行者表彰について

八千代市の篤行者表彰として2020年(令和2年)11月23日(月・祝)に長尾みち子氏、中村憲子氏の2名が表彰されました。おめでとうございます。

長尾みち子(ながお・みちこ)氏は、1991年(平成3年)10月から語学ボランティアとして活動を始めております。1993年、通訳としてタイラー市を親善訪問し、2019年、再度通訳としてタイラー市を親善訪問しているほか、



八千代市で行われた2017年(平成29年)の姉妹都市提携25周年の際には、通訳として活躍いたしました。このように親善訪問団が八千代市を訪れたときには、通訳だけでなく、受入準備などに積極的に参加しております。現在も語学ボランティアとして活動中。また、2003年(平成15年)6月からは日本語教室のボランティアとして活動を始めており、現在も活動中。(国際姉妹都市部会)



中村憲子(なかむら・のりこ)氏は、1990年(平成2年)に職業能力協会主催の日本語養成講座を受講し、1995年(平成7年)11月、日本語教室火曜会の開設に伴い、当初からこの教室で日本語指導を行っております。1996年10月にこの教室の会計兼サブリーダーとして現在に至っております。教室開設以来25年にわたり、在日外国人への日本語教室に徹し、日本文化への関心を深められるよう月々の行事(七夕・節句等)や昔遊び(カルタ・すごろく等)も取り入れ、副教材も導入しつつ、特に初級者には創意工夫をしながら、分かりやすく授業を展開しております。(日本語ボランティア部会)




**JA 八千代市**  
八千代市  
大和田新田 640-1  
TEL 047-450-3711(代)



JA八千代市は  
地域と農家をつなぐ  
架け橋でありたい

Wishton where a dream meets

## 夢かなうウィシュトン

ご宿泊・ご宴会・ご婚礼・お食事

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘4-8-1  
TEL.043-489-6111 FAX.043-489-8156  
http://www.wishton.co.jp/

結婚式のできるチャペル・8つの宴会場・中華・フレンチレストランを備え、ビジネス・研修・ご家族の大切なひとときをご提供いたします。

綺麗な印刷.....

●総合印刷 ●プリントマネジメント

## 金子印刷企画

KANEKO

八千代市萱田 410-1 047-450-9163



ライオンズクラブ国際協会  
333-C地区5R・2Z  
八千代ライオンズクラブ


ライオンズクラブは、地域社会の生活、文化、福祉向上等の奉仕活動を展開し、世界の平和を願う世界最大の奉仕団体です。

●事務局：八千代市八千代台東1-1-10 ユアエルム4F  
TEL 047-482-0525 FAX 047-486-0113

●例会日：第2・4水曜日 PM7:00~

## 地域の発展と共に歩む

創業昭和2年 建設・設計・施工



### 周郷建設株式会社

会長・周郷紀男 代表取締役社長・周郷寿雄

八千代市大和田新田406/電話 047-450-3024(代)/ファックス 047-450-0576



## 株式会社 川島不動産

なんでもご相談下さい

株式会社 川島不動産 〒276-0023  
千葉県八千代市勝田台  
2丁目1番地2川島ビル1F  
TEL:047-483-2652(代)  
FAX:047-483-2168  
http://www.kawashima-re.co.jp/

社団法人千葉県宅地建物取引業協会会員  
千葉県知事免許(13)第3137号  
東京海上日動火災保険代理店

《表紙写真》 ㊦入室するときは非接触式電子温度計で計ります(10月10日) ㊧自分たちで作成した「ビニール製の仕切り板」を学習に使用(10月10日) ㊨テレビ(J:COMYY八千代)から写真展の取材を受ける小林公孝会長(10月3日) ㊩タイラー市姉妹都市委員会からいただいた写真の前で小林公孝会長から説明を受ける服部友則・八千代市長(10月3日)